

プレゼンテーション審査における質問事項（案）

1. 事前通告質問 [進行：事務局]

1-1 共通質問

[事業実施上確認が必要な事項]

- (1) 流域下水道事業の改築計画の単年度事業費に対して、県が用意できる予算額（国庫補助額）が不足する場合を想定し、改築計画の延期等調整の余地について説明すること。

〔評価項目 3-1 収支計画〕

【確認のポイント】

事業開始当初に多額の集中投資を計画しているが、過去実績を踏まえれば県が用意できる予算額（国庫補助額）を超過する可能性が高いことから（特にB及びCコンソーシアム）、改築計画の延期等による予算平準化の調整余地を確認する。

[技術WG]

- (2) 統合プラットフォームについて、災害・事故及び外部からの不正アクセスによるシステム障害の防止や情報漏洩防止に関する事前対策はどのように考えているか説明すること。また、それらに起因するシステム障害等の発生時における対応方法はどのように考えているか説明すること。〔評価項目 6 改築・修繕計画 他、様々な評価項目に関連〕

【確認のポイント】

運転継続するための対応・復旧時間・システム、データ、通信回線などのバックアップ体制等を確認する。

[技術WG]

- (3) 県の改築計画における多くの設備等を修繕により対応する計画としているが、設備の健全度を維持（保持）する方針はどのように考えているのか、修繕費の計上根拠を交えて説明すること。〔評価項目 6 改築・修繕計画〕

【確認のポイント】

事業開始時および事業期間中の健全度の評価方法、健全度が低下した場合の対応方針、事業終了後の健全度の確保について、具体的な施策や目標を立てているかを確認し、施策を実現するために必要な修繕費が計上されているかを確認する。

※上記質問（3）に対する、当日の再質問

（3！）上水道、工業用水道において、修繕で対応することとした設備が破損等により更新が必要となった場合にはどのように考えているか。〔評価項目6 改築・修繕計画〕

1-2 個別質問

〔Aコンソーシアム〕

〔財務WG〕

（1） 第二次審査書類における個別事業の収支計画の考え方について説明すること。また、運営権者提案額の範囲内で、9個別事業ごとに健全な経営が継続可能かについて説明すること。〔評価項目3-1 収支計画〕

【確認のポイント】

流域下水道2事業（阿武隈川下流、吉田川）で他のコンソーシアムを比較して大きな損失が計上されている一方で、上水2事業では大きな利益が計上されている理由について確認する。また、運営権者提案額（利用料金）の範囲内で9個別事業ごとの収支計画が成立し、健全な財務状況が確保される見通しとなっているかを確認する。

〔Bコンソーシアム〕

〔財務WG〕

（1）

【確認のポイント】

[運営権者提案額等確認調査書]

(2)



【確認のポイント】



2. 当日予定質問 [各委員より質問]

2-1 共通質問

(3) 人員確保の確実性について説明すること。〔評価項目 2-1 役割分担及び機関設計〕

【確認のポイント】



2-2 個別質問

〔Aコンソーシアム〕

(1)

(2)

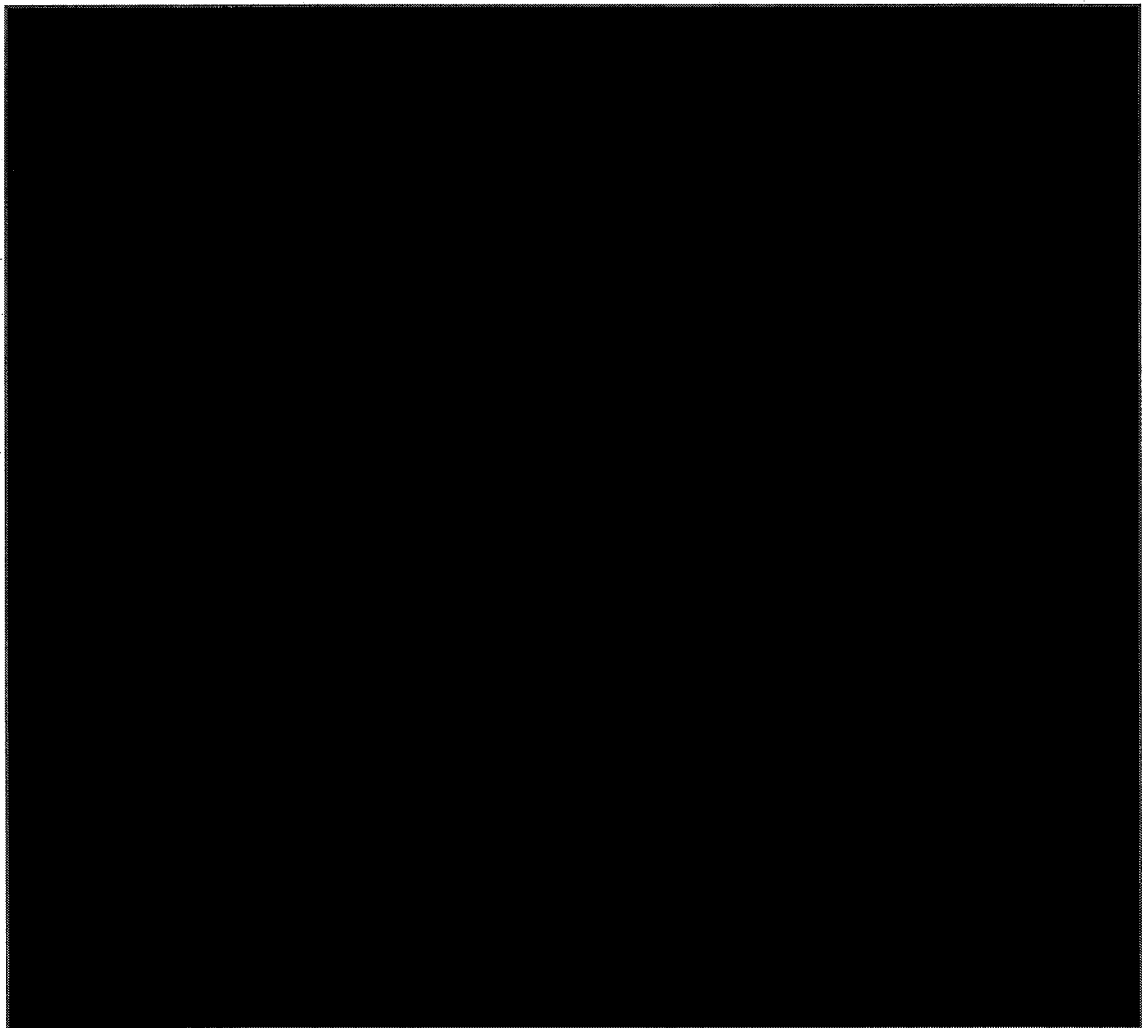
(3)

(4)

(5)

(6)

(7)



〔Bコンソーシアム〕

- (1) 意思決定に際し、構成員の国内企業と海外企業で意見相違があった場合の対応について説明すること。〔評価項目 2-1 役割分担及び機関設計〕

【確認のポイント】

(2)

- (3) ISO17025の3年以内の取得について、SPC参加企業に取得実績があるのか説明すること。〔評価項目 4 水質管理〕

(4)

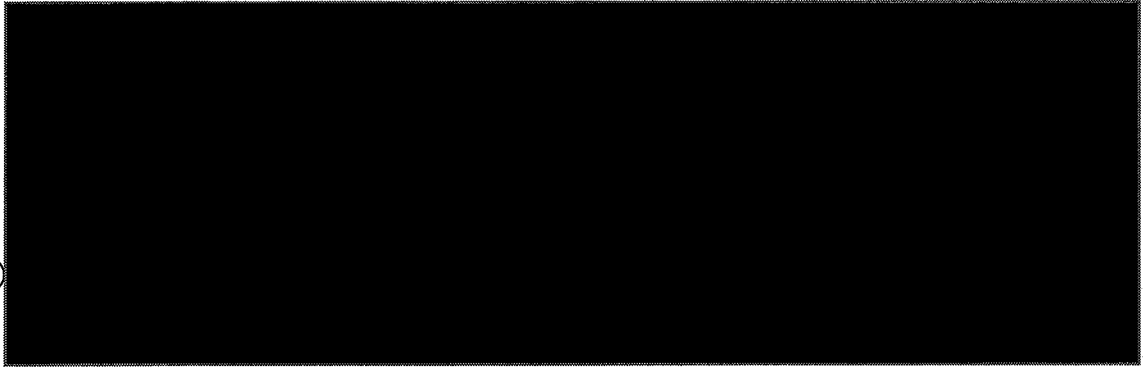
(5)

(6)

(7)

(8)

(9)



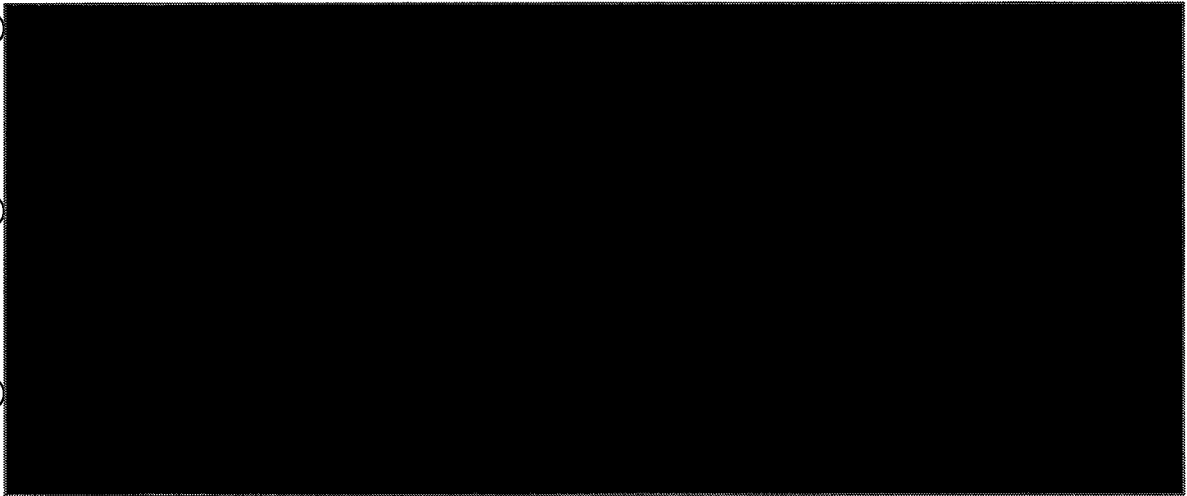
(10)

〔評価項目 6 改築・修繕計画〕

【確認のポイント】



(11)



(12)

(13)

[Cコンソーシアム]

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

(6)

(7)

(8)

(9)